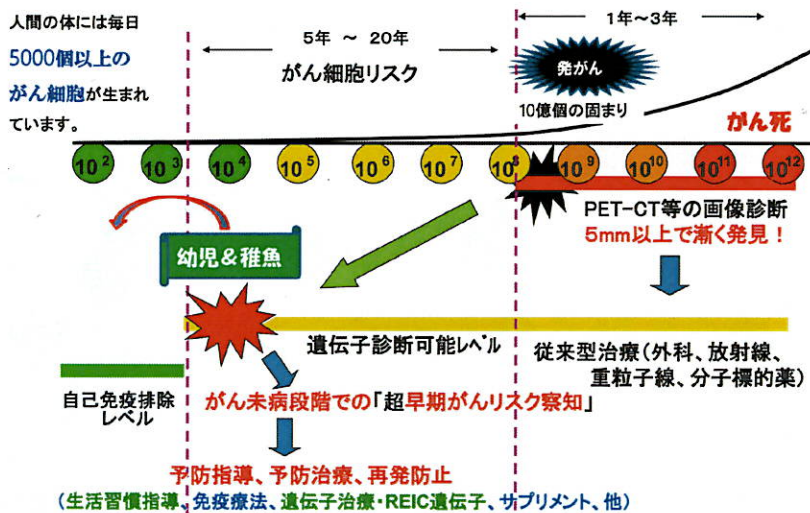


エコヘルス連続講座 第5回 < 21世紀の先端医療デトックス >
古田 一徳 (ふるたクリニック院長 肝臓専門医 医学博士)

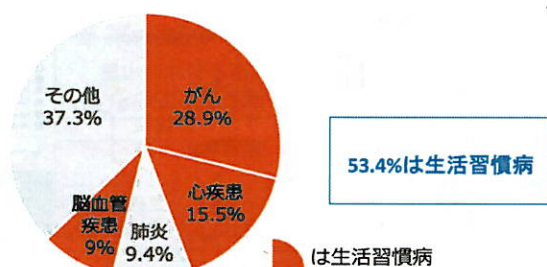
早期治療から、早期予防へ



重要なのは健康寿命。病気の発症要因で遺伝的要因はわずか5%、多くは環境要因。殆どの人は病気になってから治療に取り組むがそれでは遅い。現代の社会環境で体内に蓄積された有害重金属は技術の発達により計測可能。ガンや痴呆症だって発症リスクは血液検査で知ることができる、だから予防が可能。しかし、病気発症の5年~20年前。あなたはこの時期に予防治療ができますか?。でもこの事を知っていると、あなたの大きな力となります。(9月15日十和田市民文化センター)

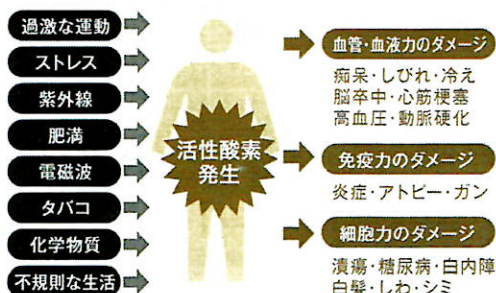
なぜ予防が必要か?

日本人の死因 (平成26年)



※厚生労働省「人口動態統計月報年計」より

活性酸素の発生と病態



金属(水銀など)が関係

人体に取り込まれた空気中の酸素の一部は、毒性のある活性酸素に変化する。水銀などの有害金属があると、活性酸素が多く発生する。活性酸素は、がん、心筋梗塞、脳梗塞、認知症の原因として重要。

有害重金属の摂取元と身体への影響

有害重金属	摂取元	身体に与える影響
水銀	マグロなどの魚介類、農薬、化粧品、 アマルガム(歯科充填金属)など	頭痛、疲れやすい、不眠、しびれ感、 うつ状態、情緒不安定、皮膚炎、慢性疲 勞、免疫力低下、高血圧など
鉛	ガソリン、ヘアカラー、陶器、絵の具、 古い水道管、ペンキ、など	貧血、情緒不安定、神経疾患、 子供の成長阻害など
ヒ素	大量のひじき、殺虫剤、除草剤、 汚染された水など	疲労、手足の灼熱感、アレルギー症状、 皮膚炎、胃腸障害など
カドミウム	煙草、排気ガス、メッキ工場、 合成ゴム、プラスチック、米など	脱毛、貧血、たんぱく尿、血圧上昇、 神経過敏など
アルミニウム	アルミ鍋、アルミ缶、アルミホイール、 歯磨き粉、胃腸薬、飲料水、 ベーキングパウダーなど	食欲不振、息切れ、胃腸障害、 脳・神経疾患、筋肉痛など
ニッケル	煙草、マーガリン、メッキされた金属、 電池など	皮膚炎、酵素阻害など

□ オゾン療法(血液クレンジング療法)

- 体内の酸素化
- 末梢血流の増加
- 免疫機能の向上
- 細胞の活性化 —細胞内ATPの上昇



病気の治療、健康維持、疲労回復